

令和6年度 第2回 研究評価委員会

開催日時 令和7年3月14日（金）13:30～17:00

1. 事後評価対象課題と評価結果

	目標の達成度	得られた成果	成果の取り扱い	今後の試験研究の進め方	合計
①高 CP 濃厚飼料における NFC 強化が黒毛和種雌牛の産肉成績へ及ぼす影響 (大家畜研究課 R4～6)	3.5	4.0	3.8	4.0	15.3

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・高品質な牛肉生産のために、農家の飼料設計に寄与する効率的な給与バランスの検討が引き続き必要である。

	目標の達成度	得られた成果	成果の取り扱い	今後の試験研究の進め方	合計
②熊野地鶏びなの安定生産を目指した種鶏の飼養管理技術の検討 (中小家畜研究課 R4～6)	4.0	4.0	4.5	4.0	16.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・鶏舎の夏場の暑熱対策が重要と思われる。
- ・熊野地鶏が安定して生産され普及していくことを願う。

	目標の達成度	得られた成果	成果の取り扱い	今後の試験研究の進め方	合計
③OPU 技術を活用した新しい胚生産手法の開発 (家畜改良繁殖研究課 R4～6)	3.5	3.5	3.3	4.3	14.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・肥育素牛の安定確保につながる子牛増産技術として重要な研究課題である。
- ・受精卵移植にかかる器具開発について、メーカーの協力が得られることを期待する。

	目標の達成度	得られた成果	成果の取り扱い	今後の試験研究の進め方	合計
④ウシ胚の新しい緩慢凍結法の現場普及に向けた検討 (家畜改良繁殖研究課 R5～6)	3.5	3.5	3.3	4.3	14.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・和牛受精卵の移植技術の基礎研究的な課題であり、普及には時間がかかる。
- ・開発した手法による凍結受精卵の事例数を増やし、誕生した子牛の追跡調査が必要である。

※事後評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により 4 名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 目標の達成度

- | | |
|------------------|-------------------|
| 5点：期待以上に目的を達成した | 4点：ある程度目標を達成した |
| 2点：あまり目標を達成していない | 1点：ほとんど目標を達成していない |

2. 得られた成果

- | | |
|------------------|--------------------|
| 5点：期待以上の成果が得られた | 4点：ある程度の成果が得られた |
| 2点：あまり成果が得られていない | 1点：点ほとんど成果が得られていない |

3. 成果の発展性

- | | |
|-------------------|----------------|
| 5点：大いに普及させる | 4点：ある程度普及させる |
| 2点：あまり普及させるべきではない | 1点：普及させるべきではない |

4. 今後の進め方

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 5点：関連研究を積極的に発展させる | 4点：発展させた方がよい |
| 2点：発展させない方がよい | 1点：むしろ一線を画して完全に終了させる |